

第12回会津耶麻地方 植樹祭



10月18日（火）道の駅ばんだいおよび大谷川遊歩道において、第12回会津耶麻地方植樹祭が開催され、耶麻管内（猪苗代町・北塩原村・西会津町・磐梯町）の小学生や林業関係者など約80名が参加しました。

大谷川遊歩道で参加者や児童らが約100本のあじさいと5本のソメイヨシノの苗木を植え、樹木医の指導のもと桜の木の剪定や追肥などを行いました。最後に、会津農林事務所長、会津森林管理署長、瓜生 信一郎県議会議員、耶麻管内の町村長と代表児童によって記念標柱が設置されました。



式典では、一小・二小代表児童による「緑化のことば」が行われ、「緑豊かな会津に生まれ育ち、緑を愛し、守り育てるため、美しい郷土をつくり、後世へ伝えます」と誓いました。

また、本寺里山林育成会が本寺地区の花木の植栽等地域の緑化と森林環境の保全を行ったことが評価され、緑化功労者として表彰を受けました。